

いわて青少年育成推進計画2020《2020～2024》(令和2年3月・青少年育成県民会議)

序

- ◇ 計画策定の趣旨
県民総参加による青少年の健全育成活動の指針として、平成27年3月に策定した「いわて青少年育成推進計画」の見直しを行い、新たに策定。
- ◇ 計画の性格
青少年の健全育成のための基本理念と、それを実現するための推進方策を示すもの。
- ◇ 計画の期間
令和2年度から令和6年度までの5年間。
- ◇ 対象とする青少年の範囲
おおむね30歳までの青少年を主な対象。

I 青少年めぐる潮流(現状と課題)

- ◆ 青少年を取り巻く環境
 - 1) 人口減少・少子高齢化の進行
 - ・世代間、地域間の格差の顕在化
 - 2) 雇用の動向と働き方の見直し
 - ・雇用情勢の改善と若者の就労状況の変化等
 - 3) 技術革新や情報化社会の進展
 - ・スマートフォン、SNSの普及と弊害
 - 4) 家庭・地域の変容
 - ・家庭の養育力、地域の教育力の低下
- ◆ 青少年をめぐる状況
 - 1) 青少年の意識と行動(県の意識調査から)
 - ・友達とはSNSで。ゆとりを重視、地域への愛着が強く、将来の社会には厳しい目
 - 2) 困難を抱える子ども・若者の顕在化
 - ・ニート、ひきこもり、不登校、障がい等を抱える子ども、いじめ、虐待などの問題の顕在化
 - 3) 東日本大震災津波からの復興・発展と若者の活躍
 - ・着実な復興と再建を支える若者の活躍
- ◆ 行政施策等の動向
国、県の制度や施策の変化や新しい動き

II 県民会議の役割(果たすべき役割)

- ◆ 関係団体とのネットワークの構築と拡充
 - ◆ 関係団体との協働と支援の推進
 - ◆ 広域的・先導的な事業の実施
 - ◆ 県民に対する様々な情報発信
- 《課題》
- ・多様で幅広いネットワークの構築、県との連携の強化
 - ・財政基盤、事務局体制の強化

III 基本的考え方

《基本目標》「次代を担う青少年の健やかな成長と社会的自立の達成」

・青少年一人ひとりが自らの夢や可能性を、自身の力と社会との関わりの中で、自らが選択し実現できる、健全で自立した人間として成長していけるよう、互いに育み合い地域全体で支えていくことを目指すものです。

《目標達成の重要な視点》

「人」を育み 「地域」をつなぎ 「環境」を共に創る

・青少年の成長と自立を地域全体で支え、社会参加や多様な活躍を支援する健全な環境を創っていくことが大切です。
・関係団体等と共通認識のもと、連携・協働・ネットワークに基づく県民運動として取り組みます。

IV 活動の方針

《活動の方向性》

・基本目標の実現に向け「人」「地域」「環境」の3つの視点を活動の柱と位置付け、重点方針を定めて効果的・総合的な事業展開を図る。

事業運営の重点《活動の重点方針》

- 多様なネットワーク構築と連携のとれた事業展開
青少年関係団体やNPOが加わる重層的なネットワークを構築、青少年の育成・支援ビジョンを共有し、連携のとれた事業展開を図る。
- 青少年関係団体等への支援
関係団体の担い手となる人材育成への支援や、幅広い情報提供、活動助成など、各団体が活動を円滑に進められるよう必要なサポートを行う。
- 青少年の社会参加の促進
地域の枠を越えた広域的事業の実施や、ボランティアの企画段階からの事業参画を進め、青少年の社会参加や地域づくりへの参加の促進を図る。
- 先導的な事業や新たな課題
ネット依存予防など情報メディア対応の事業や、社会生活に困難を抱える子どもやその家族への支援など先導的な事業や新たな課題に取り組む。
- 健全で明るい家庭づくり
家庭でのふれあいや対話の重要性への認識を深めるなど、学校、地域との連携の下、「いわて家庭の日」の普及拡大を基本に取組を進める。

活動を支える体制の整備《組織運営の重点》

- 活動の基盤となる組織体制の強化
 - ・会員加入の促進や、協賛企業の募集や外部団体の助成など資金導入に取り組む、収入の確保を図る。
 - ・事務事業の不断の点検により、事業運営費の支出の抑制、適正化を図る。
 - ・内部研修の開催、外部研修への派遣などを通じて、職員の意識改革、能力向上を図るとともに、組織や勤務体制の見直し整備に適宜取り組む。

活動方針

青少年育成支援

- ◆ 青少年育成セミナー開催事業
- ◆ 青少年育成地域活動支援事業
- ◆ 青少年育成指導者研修事業
- ◆ 青少年育成講師等派遣事業
- ◆ 青少年育成貢献団体・貢献者表彰事業
- ◆ 青少年ボランティア活動促進事業
- ◆ 青少年健全育成広報事業
- ◆ 青少年調査・研究事業

自立と社会参加推進

- ◆ わたしの主張岩手県大会開催事業
- ◆ いわて希望塾事業
- ◆ 青少年体験講座事業
- ◆ 国際交流シンポジウム事業
- ◆ 情報メディア対応促進事業
- ◆ 社会生活に困難を有する子ども若者支援セミナー
- ◆ 相談事業(青少年なやみ相談室など)

家庭づくり・健全な環境づくり

- ◆ いわて親子・家庭フォーラム事業(子ども・家庭・地域に関する交流セミナー、いわて親子フェスティバル)
- ◆ 「いわて家庭の日」普及拡大事業
- ◆ 親子ふれあい広場「観武ヶ原まつり」事業
- ◆ 非行・被害防止県民大会開催等事業
- ◆ 災害復興支援事業(復興バザー)

推進体制

- ◇ 財政基盤の強化(会員の拡大、協賛企業の募集など)
- ◇ 事務局体制の強化(職員の能力向上、雇用環境の整備など)
- ◇ 県等との連携の強化(新プラン等に呼応した取組など)
- ◇ 事業評価の徹底(外部評価の充実など)